



椅子取りゲームからの学び

3歳児うさぎ組
R1、9、27

うさぎ組になってから、みんなで一緒に行うゲームとして、楽しんでいる椅子取りゲーム！毎回盛り上がりを見せ、回数を重ねるごとに子ども達の間にも、相手を思いやる気持ちも見られるようになりました。

4月からうさぎ組のお友達として一緒に過ごしてきたKちゃんが9月いっぱい退所することになり、みんなで楽しい思い出を作ろうと、先日うさぎ組ではお楽しみ会を行いました。その中で、みんなで一緒に椅子取りゲームを楽しみました！その様子をご紹介します！



空いているところはどこかな？

椅子取りゲームを始めた初めの頃。音楽が止まると、歩くのをやめ、近くの椅子に座るという簡単なルールは、初日から理解することができていました。まずはみんなが座ることができるように、椅子を抜かずに行いました。少しずつ椅子を抜くと、座れない子も出てくるので、残念そうにする子、悔しくて大泣きをしてしまう子など、様々な姿が見られていました。

ここ空いてるよ！



もちろん今でも座ることができない時は、泣いてしまう子がいます。回数を重ねるごとに悔しい気持ちが大きくなってきて、泣いてしまう子も増えているように感じます。それでも気持ちを落ち着かせ、今度はお友達のことを応援してくれるようになりました。

今までは「自分が！」と、自分が座ることだけを考えていた子ども達の中にも、少しずつ相手のことを考えてあげる姿が見られるようになり、曲が終わり、隣の椅子が空いていると、「ここ空いているよ」とまだ座っていない子に教えてあげる姿も見られるようになりました。回数を重ねることで、座りたいという気持ちから音楽が鳴っているのに座ってしまったり、椅子をおさえながら歩いたりする子も出てきました。その様子を見ていた周りの子は、保育者に「〇〇くんが、こうやっている！」と伝え、みんなでルールを一緒に考えながら行うことで、ルールを守って、遊びを楽しむことができるようになってきていると感じます。

また一緒に遊ぼうね！



うさぎ組になって半年。まだまだ自分中心で考えることが多い3歳児ですが、そんな中でも遊びを通して、相手のことを考えることができるようになっていくことに成長を感じる活動でありました。その姿を私たち保育者が気付き、認めてあげることが大切だと感じています。ルールを守ろうとしたり、言葉で保育者や友達に伝えることができることなど遊びの中での学びをこれからも大切にしていきたいと思えます。お友達との別れは寂しいですが、うさぎ組さんのみんなのこと、忘れないでね！